

東日本大震災の遺構ガイドさんによる講話

東日本大震災が起きた2011年3月、仙台市立荒浜小学校の校長先生で、現在は震災遺構として公開されている同校のガイドを務める川村先生による講話が先日行われました。5年生、6年生を対象とした話では「自分の命を自分で守れるようになってほしい」という体験談を語り続ける思いを話してくださいました。また放課後行われた職員研修では、様々な場面を想定しての危機管理の話がありました。

研修を通して学んだことを児童も職員も万一の際に、実行に移せるよう取り組んでいきたいと考えます。

